

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【63】

2. 日時：令和4年1月21日 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

江崎企画調査官、植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他15名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のハツリです。
0:00:05	ただいまから島根 2 号機、設工認のヒアリングを開始いたします。
0:00:11	本日の議題は、
0:00:13	津波への配慮に関する説明書に関する補足説明資料のうち、
0:00:18	非常用ポンプに対する強度評価。
0:00:22	あと津波監視設備の、
0:00:25	設備構成と電源構成。
0:00:28	あとは出口弁等の健全性等になります。よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:36	はい。予定されて、中国電力遠別はい。予定されている通りでございます。
0:00:41	規制庁のハツリです。
0:00:43	それでは資料の確認からお願いします。どうぞ。
0:00:49	はい。中国電力のケンツメです。それでは資料の確認をいたします。
0:00:53	提出日は 2022 年 1 月 18 日としております。資料番号は NS2 他 012 階 02。
0:01:02	NS2 歩 01802 階 03。
0:01:06	Ms2。
0:01:08	配本方、他 iPhone029。
0:01:11	NSD 他、
0:01:13	030、ここまでが 2022 年 1 月。
0:01:17	普通 18 時停止となります。
0:01:21	NS2.1-004 回ゼロイチ同じく括弧光 01、こちらについては 2021 年 11 月に認定したものとなります。
0:01:32	訂正は以上でございます。
0:01:39	規制庁の服部です。はい。資料の方確認できました。
0:01:43	それでは説明の方を始めてください。どうぞ。
0:01:48	はい。それでは説明させて、長保険ですそれでは説明させていただきます。指導ナンバー NS2、他 012 階 02。
0:01:57	について確認願います。
0:02:02	こちらの資料の 6 ページを確認願います。
0:02:09	ナンバー 38 が、今回の適正化箇所となります。こちらはその後説明させていただきます。
0:02:15	津波への配慮に関する説明書に関わる、
0:02:19	補足説明資料の目次の記載について。
0:02:22	先行審査プラントと比較整理した結果、記載を適正化いたしました。
0:02:27	詳細については、資料ナンバー NS2 他 030 において、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:32	説明させていただきます。
0:02:36	それでは、
0:02:38	資料ナンバーNS2 ほか、030 について確認願います。
0:02:44	こちらの資料は、先日のヒアリングにおいてコメントいただきました。
0:02:48	補足説明資料の項目について、
0:02:51	変更審査プラントと比較した上で、
0:02:54	項目を網羅的に提示し、
0:02:56	各項目の概要を説明するものとなります。
0:03:01	資料の説明にあたり、資料工程から説明させていただきます。
0:03:06	こちらの資料は、先行審査プラントである。
0:03:09	東北電力女川 2 号の、
0:03:12	補足説明資料の項目に対し、横並びになるよう、島根の補足説明資料の項目を記載する構成となっております。
0:03:21	東海第 2 の項目についても、同じく女川 2 号に対し、横並びで記載しておりますが、こちら参考という形で記載させていただき、いただいています。
0:03:33	各補足説明資料の概要については、
0:03:36	概要の欄に、島根における補足説明資料の概要を記載しております。
0:03:43	各補足説明資料について、先行審査プラントと比較した結果、
0:03:49	津波への配慮に関する説明書に関わる補足資料説明資料のうち、
0:03:54	1 ポツ、入力津波の評価から、
0:03:57	4 ポツ。
0:03:58	漂流物に関する考慮事項まで大きな差はないことを確認しております。
0:04:05	次に、当社の
0:04:07	5 ポツ、浸水防護施設の設計における補足説明資料。
0:04:12	女川殿の資料では、設計
0:04:15	基準における功労事故考慮事項となりますが、
0:04:18	日間における、補足説明資料としては、2 種類で計画しており、
0:04:23	一つはすでにいくつか提出し、ご確認いただいておりますが、
0:04:27	津波へのファイルに関する説明書に関わるものです。
0:04:31	もう一つは、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料で構成しております。
0:04:39	こちらは今後提出予定である、耐震計算書、強度計算書に関わる補足説明資料として作成しておりますが、
0:04:48	女川 2 号の津波への配慮に関する御説明費用のうち、
0:04:53	耐震強度の評価に関わるものを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	当社では、浸水防護施設の耐震性に関する、
0:05:00	説明のほどご説明資料として記載しております。
0:05:04	例えば、5 ポツ 1、地震と津波の組み合わせで、
0:05:09	考慮する荷重についてでございますが、
0:05:12	隙値では、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料、1 ポツ 1 において、
0:05:20	同様な説明を行うことを記載しております。
0:05:23	資料の概要は、島根の市、
0:05:26	このホテルの 1 ポツ 1 の欄に、の概要欄について書い記載しております。
0:05:34	一方、設備等の違いにより、
0:05:36	隙においては作成費用としている資料があるため、そちらについて説明いたし ます。
0:05:42	女川 2 号における 5 ポツ後スロッシングによる貯水量に対する影響評価です が、こちらの資料は、女川は女川 2 号は、柳関野。
0:05:53	スロッシングによる水量低下を評価しています。
0:05:56	これに対し、愛媛は貯留堰を設置しないため不要としております。
0:06:02	続いて、女川 2 号の 5 ポツ 11。
0:06:05	地殻変動後の津波襲来時における海水ポンプの取水性への影響についてで すが、こちらは、
0:06:14	女川 2 号は、隆起によって、貯留堰の %高さを、
0:06:19	引き波が下回る時間に対する影響を評価しております。
0:06:23	これに対し島根は引き波による水切りが発生しないことから、貯留堰を設置し ないため不要としております。
0:06:32	続いて、女川殿。
0:06:34	5 ポツ 15、浸水量評価についてですが、
0:06:37	こちらの資料は、女川 2 号は外郭防護 2 で示している。
0:06:42	海水ポンプ室の逆止弁付ファンネルからの浸水量について評価しております。
0:06:48	これに対し、島根は、6-1-1 の、
0:06:52	3-2-4、入力津波による、
0:06:55	津波防護対象設備への影響評価において説明を行っておりますので、不要と しております。
0:07:03	続いて、女川道路の 5 ポツ 18。
0:07:07	傍聴へ来ないのスロッシングによる非常用非常海水ポンプへの没水影響につ いてですが、
0:07:14	こちらは女川 2 号は、敷地レベルを超える入力津波に対し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:18	余震によるスロッシングを考慮した影響を評価しております。
0:07:22	これに対し島根では、余震を考慮した津波である海域活断層からの津波は敷地レベルに達し、
0:07:31	弾きという出すし。
0:07:33	余裕があるため、
0:07:35	明日、すみません、敷地レベルに対し、余裕があるため、防水駅における余震によるスロッシングの評価を不要としております。
0:07:44	続いて、女川泥の 5 ポツ、23、タービン補機冷却海水系ポンプは木立辨野。
0:07:50	津波に対する健全性についてですが、こちらの資料で説明する島における設備は、浸水防止設備、Sクラス設備としており、
0:08:00	耐震計算書及び強度計算書を作成し、そちらで説明するため、不要としております。
0:08:06	続いて、女川殿。
0:08:09	お願い 2 号の 5 ポツ 25。
0:08:12	第 3 号機海水熱交換器建屋の回転の影響についてですが、
0:08:17	こちらは、女川 2 号では、当該建物の応答加速度を、
0:08:23	一軸の質点系。
0:08:25	地震応答解析者により算出しており、
0:08:28	建物の改定による影響を説明しております。
0:08:32	これに対し島根では、防水駅、水密扉が設置される建物構築物は、
0:08:38	2 号機タービン建物及び取水槽であり、これらは佐治区の出店。
0:08:44	自然系地震をと解析モデルまたは 2 次元FEM解析モデルにより地震応答加速度を算出していることから、不要としております。
0:08:55	続いて、女川 2 号の、
0:08:57	5 ポツ 27。
0:08:59	膨張駅の取水行動についてですが、
0:09:02	こちらは女川 2 号の防潮比木の地図形式は、
0:09:06	区間によって、
0:09:07	異なっているため、各館における止水構造を説明しております。
0:09:12	島根では同時の構造がないため、不要としております。
0:09:16	続いて女川 2 号の 5 ポツ 28、3 号機海水系に関する津波時の敷地への流入影響についてですが、
0:09:25	女川 2 号は、敷地レベルを超える 3 号機の津波影響者に影響を説明しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	島根は2号機以外の入力津波高さが敷地レベル未満であり、不要としております。
0:09:39	最後になりますが女川2号、6ポツ3、防潮引きに関することご説明。
0:09:45	及び6ポツ4貯留堰に関する補足説明ですが、
0:09:50	こちらの設備は島根ないため、不要としております。
0:09:54	以上が本資料の説明となります。
0:09:56	続いて、補足説明資料の説明をさせていただきます。
0:10:01	資料ナンバーNS2を01802階03を確認願います。
0:10:14	通しページの2ページを確認願います。
0:10:20	赤枠で示す範囲が、今回説明する範囲となります。
0:10:25	続いて通しで4ページを確認願います。
0:10:33	Aが、原子炉補機海水ポンプ及び、高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの⑨に対する強度他に関する補てつとなります。
0:10:43	この資料では、津波発生時の日次を受けた際の原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの健全性を評価しております。
0:10:54	評価条件としては記載の通りとなりまして、
0:10:57	解析により算出された基準津波による最大流速は1.93ではありますが、
0:11:03	アルクに対する強度評価では、安全側に2メートルを想定設定して、
0:11:09	海水ポンプに作用する流体力を算出しております。
0:11:13	海水ポンプに材料する流体力による荷重は、
0:11:17	定量的な流れがポンプに対応すると仮定しております。
0:11:21	海水ポンプは、漂流物の影響を受けない取水槽に設置されていることから、影響は想定しないものとしております。
0:11:29	海水ポンプの設置部は、
0:11:32	津波防護対象設備を内包する建物及び区画として、津波からほど防護されているため、
0:11:39	ベルマウス下端からポンプ据えつけ床の、
0:11:44	下面までが、流体力を受けるものとして評価を実施しております。
0:11:49	続いて評価部位ですが、評価部位は、ポンプ基礎ボルトフォーラムタイプ。
0:11:55	耐震サポート基礎ボルトとし、当該部位に発生する荷重荷重及び応力を評価します。
0:12:02	評価部位及び荷重が作用する範囲を図3ポツ2-1に示しております。
0:12:08	なおポンプ取付ボルト、耐震サポート取り付けボルトについては、ボルトの総面積が基礎ボルトより大きいことから、基礎ボルトの評価に包絡されるものとしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:19	通しページの 6 ページを確認願います。
0:12:24	海水ポンプに作用する流体力と、評価部位に発生する荷重の計算となります。
0:12:30	このパイプに津波が影響することを想定し、流体力を検討しております。
0:12:36	らんパイプを円筒形状と仮定し、安全が流速を抑制する河内構造物。
0:12:43	は考慮せず、評価しております。
0:12:46	通しページの 9 ページを確認願います。
0:12:53	ポンプ基礎ボルトの評価となります。
0:12:55	9 ページにポンプ基礎ボルトに発生する引張応力、
0:13:00	10 ページでポンプ基礎ボルトに発生するせん断応力を算出しております。
0:13:05	結果をそれぞれ 3 ポツ 2-3。
0:13:08	表 3 ポツ 2-3、表 3 ポツ 2-4 に示しております。
0:13:12	通しページで 12 ページをご覧、確認願います。
0:13:17	ここでは、耐震サポート基礎ボルトの評価を行い、結果を、
0:13:21	表 3 ポツ 2-5 に示しております。
0:13:25	1 ページ 14 ページを確認願います。
0:13:29	ここではご覧パイプの共同化を行っております。
0:13:32	結果を表 3 ポツ 2-6 に示しております。
0:13:39	通しページ 15 ページを確認願います。
0:13:42	評価結果を 3 ポツ 2-7 にまとめております。海水ポンプに発生する応力は許容力以下であることから、ポンプの健全性は確保されることを確認しております。
0:13:54	続いて、通しページの 17 ページを確認願います。
0:14:01	津波監視設備の設備構成及び電源構成になります。
0:14:06	本資料は、津波監視設備の中央制御室における監視機能及び非常用電源からの給電について説明するものです。
0:14:15	津波監視カメラ及び取水槽水系は、非常用電源設備の、
0:14:22	コントロールセンターから給電し、映像信号または水位を中央制御室へ伝送する設計としております。
0:14:30	津波監視カメラの概略構成図及び取水槽水系の概略構成図を、
0:14:36	図 5 ポツ 2-1 及び 5 ポツ 2-2 に、
0:14:40	5 号と 2-2、新美に示しております。
0:14:44	津波監視設備の概略電源構成図、津波監視設備の配置図及び津波監視カメラの映像イメージを図 5 ポツ 2-3 図 5 ポツの 2-4 及び図 5 ポツ 2-5 に示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:58	通しページの 22 ページを確認願います。
0:15:04	津波監視カメラは、通常、中央制御室に低下することを基本としておりますが、
0:15:10	緊急時対策所でも、現場状況の確認が、
0:15:13	可能となるよう、緊急時対策所に実施設備として、監視設備を設置することとしております。
0:15:21	続いて、50 ページ、24 ページを確認願います。
0:15:28	循環水ポンプ出口弁及び復水器水室出口弁の津波に対する健全性の説明となります。
0:15:35	本資料は、6-1-1 の 3-2-4。
0:15:39	入力津波による津波防護対象設備への影響評価のうち、3 ポツ 4、(4)。
0:15:46	津波防護対策において、
0:15:48	津波到達においても、弁の閉状態が維持可能な設計とする弁のうち、
0:15:54	内部溢水対策として、
0:15:57	循環水ポンプ出口弁及び復水器水室出口弁が閉した後に、これらの弁が、
0:16:03	津波荷重及び余震荷重に対して構造健全性を有することを確認するものです。
0:16:09	弁の配置計画を図 5 ポツ 4-1 に示しております。
0:16:14	通しページの 25 ページを確認願います。
0:16:18	弁は電動バタフライ弁であり、全体を改善し、現在に密着することで、止水する構造となっており、
0:16:26	概略構造を表 5 ポツ 4-1 に示しております。
0:16:31	通しページの 26 ページを確認願います。
0:16:34	ここでちょっと誤記がありますので、訂正させていただきます。
0:16:38	減衰定数については用いておりませんので、次回以降の資料で削除させていただきます。
0:16:47	本資料において考慮する評価用地震力は、6-2-1-7、設計料以下応答スペクトルの作成方針に基づき設定します。
0:16:57	辨野設置状況、実施条件、保有周期及び評価用地震力を表 5 ポツ 4-2 表 5 ポツ 4-3 及び、
0:17:07	表 5 ポツ 4-4 に示しております。
0:17:10	次ページの 27 ページをご確認願います。
0:17:13	構造強度評価としてのその他として、荷重の設定を行っています。
0:17:18	津波荷重として、Hyaloからの津波に伴う水位を用いた静水圧を考慮し、
0:17:24	記載の式より算出しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:27	部品荷重として、弾性設計用地震動SDを考慮しております。
0:17:32	余震に伴う伴う加速度で、全体に発生する慣性力と余震による同水圧荷重を考慮し、
0:17:40	レーンの設置方向により記載している式を用いて算出し、
0:17:45	全体及び配管の内面に加わる圧力荷重として評価しております。
0:17:51	ここで余震と組み合わせる津波は、
0:17:53	海域活断層に想定される津波ではありますが、
0:17:57	安全側の評価として、日本海等縁部に想定される津波を用いております。
0:18:02	河内ページの 28 ページを確認願います。
0:18:06	考慮する。
0:18:07	バリューの組み合わせを表ポツ 5、5 ポツ 4-5 に示しております。
0:18:12	許容荷重は表 5 ポツ 4-6 に示す、水圧試験により確認した圧力を許容限界としております。
0:18:20	計算条件を表 5 ポツ 4 の 7 から、表 5 ポツ 4-8 に示しております。
0:18:26	通しページの 29 ページを確認願います。
0:18:32	評価結果について 5 ポツ 4-9 に示しております。
0:18:35	発生圧力が有意な変形及び出石漏えいがないことを確認した水圧試験の圧力であることから、評価対象である全体分が、
0:18:46	構造健全性を有していることを確認いたします。
0:18:50	以上で補足説明資料に関する説明を終了します。
0:18:54	ここで説明者を交代します。
0:18:58	説明者かわりまして中国電力清水です。
0:19:01	続きまして、資料番号NS2。
0:19:04	一他-029。提出年月日 1 月 18 日の力外排出量逆止弁の設置状況。
0:19:12	につきまして説明させていただきます。
0:19:15	こちら屋外排水逆止弁の設置状況につきまして、昨年 12 月に 4 日の漂流物による衝突荷重の算出によるヒアリング係るヒアリングにおきまして、
0:19:27	すべての屋外排水量逆止弁の位置、構造、周辺状況、
0:19:32	及び支持状況を整理するようご指摘をいただきましたので、今回資料化いたしましたのでご説明いたします。
0:19:40	1 ページをお願いします。
0:19:45	こちらから、
0:19:46	設置変更許可申請におきましては、
0:19:50	屋外排水量逆止弁の代表断面としまして、防波壁の敷地側に設置した屋外排水量逆止弁⑥及び、排気の手側に設置した屋外配する逆止弁⑦を選定し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:04	屋外配する逆止弁は集水柵内に設置していることを、図面をお示した上でご説明し、その上で、直接津波はずや漂流物による衝突荷重は、
0:20:17	かかることはない構造である旨をご説明しております。
0:20:21	屋外排水逆止弁につきましては、設置変更許可申請から設工認段階、での変更はございませんが、一部の屋外排水量逆止弁を囲む集水柵分は、
0:20:34	津波荷重に加えまして、調達荷重を考慮する必要があるため、
0:20:39	本資料の通り屋外排水力支援及び集水柵の設置状況を整理し、しご説明いたします。
0:20:46	2 ページをお願いいたします。
0:20:51	こちら図 1-1 の平面図をお示しており、この中の黒い太線が防波壁を表しております。
0:20:58	赤い丸が、奥田排水逆止弁を示しております、
0:21:03	この通り、防波壁の陸側、また海側に設置しているという状況が、を示しております。
0:21:10	3 ページをお願いします。
0:21:14	こちらには各屋外配する逆止弁の構造と機体の設置状況支持構造等をお示しております。
0:21:22	構造はすべて構成としておりまして、額はいずれも集水柵内に設置しております。
0:21:29	基本的に集水柵は地中に設置しておりますが、⑬の逆止弁の集水松波忠設置となって、しておりません。
0:21:39	また、支持構造としましては、集水柵を介して岩着した防波壁に支持させております。
0:21:46	⑨の逆止弁につきましては、駅を設置しているところと同一の改良地盤上に設置しております。後程、図面を用いてご説明します。
0:21:57	4 ページをお願いいたします。
0:22:02	4 ページと 5 ページにおきまして、
0:22:05	まず、屋外排水量逆止弁の主な構造部分として、額の構造を示しております。
0:22:11	アイス色の径の大きさによりまして、丸いものと、四角いもの 2 種類を使い分けております。
0:22:19	それぞれの構造、どうどの場所の逆止弁に用いているかということにつきましては、今日のタイトル部分に記載しております。
0:22:27	6 ページをお願いします。
0:22:31	ここから、屋外排水量逆止弁の設置状況として、平面図断面図をお示して参ります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:37	7 ページをお願いします。
0:22:42	まず屋外配する逆止弁①の平面図及び断面図となります。
0:22:47	右上に位置図をし、キープランとしてお示ししておりますが、こちらを最も西に位置するものになります。
0:22:56	平面図をご覧くださいまして屋外排水量逆止弁①と示した位置に額がございまして、その周囲に集水柵があること。
0:23:05	また集水柵は防波壁。
0:23:08	かっこ波返し重力擁壁の敷地側に設置していることを示しております。
0:23:14	断面図では、同様に、北井注水ますと、防波壁の位置関係をお示ししております。
0:23:21	集水柵はアンカーで防波壁に支持させております。
0:23:25	ここから、12 ページの屋外排水量逆止弁⑥までは、同様の構造で、
0:23:33	同様にお示ししておりますが、
0:23:35	ホームページ記載の①と同様の構造となっておりますので、説明を割愛いたします。
0:23:42	13 ページをお願いします。
0:23:48	こちらは屋外排水が逆止弁⑦の平面図及び断面図となります。
0:23:54	一井は、右上のピッキープランをご覧くださいまして、防波壁逆Tウエキの海側に設置の地中に埋設した集水柵内に設置しているものでございます。
0:24:06	集水柵は先ほどと同様に、アンカーで防波壁に支持させております。
0:24:12	2 ページの屋外排水量逆止弁 08-1 も同様の構造でございます。
0:24:19	15 ページをお願いします。
0:24:24	こちらは屋外排水逆止弁 08-2 の平面図及び断面図となります。
0:24:30	防波壁逆T溶液の敷地側の地中に埋設した集水柵内に設置しております、集水柵はアンカーで防波壁に支持させております。
0:24:40	16 ページをお願いします。
0:24:44	こちらは屋外排水逆止弁⑨の平面図及び断面図です。
0:24:49	こちらは防波壁逆T擁壁の海側の地中に埋設した集水柵内に設置しております、取水マスは防波壁と同一の改良地盤上に設置、支持させております。
0:25:02	17 ページをお願いします。
0:25:05	こちら屋外排水逆止弁⑩の平面図及び断面図です。
0:25:11	僕、防波壁多重鋼管杭式擁壁の海側の地中に埋設した、集水柵内に設置しております、集水柵はアンカーで防波壁に支持させております。
0:25:23	18 ページ 19 ページに、逆止弁⑪⑫をお示ししておりますが、同様の構造となっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:31	20 ページをお願いします。
0:25:34	最後に、最後にこちら屋外配する逆止弁⑬の平面図及び断面図となります。
0:25:41	同じく馬場防波壁多重鋼管杭式を次のうち、施設護岸より海側に張り出しました区間におきまして、
0:25:50	海側に設置した集水柵内に逆止弁を設置しております。
0:25:55	集水柵及び逆止弁は防波壁因子アンカーで支持させております。
0:26:01	⑬の間接支持構造物はこちらは棒廃棄ということになるかと思えます。
0:26:08	説明は以上になります。
0:26:16	規制庁の服部です。説明はすべて終わったと理解してよろしいでしょうかどうぞ。
0:26:24	中国電力清水です。はいその通りでございます。
0:26:29	規制庁の服部です。それでは、今の説明に対して、
0:26:34	確認する点がある方はお願いします。どうぞ。
0:26:49	規制庁植木です。
0:26:52	補足説明書を、
0:26:55	つい、
0:26:56	のポンプの評価についてちょっと確認したいんですけど、資料番号がNRCの方の、
0:27:03	018-02 の、
0:27:09	これの、
0:27:11	藤。
0:27:14	6 ページ。
0:27:19	失礼しました。12 ページ、通しの 10 ページ。
0:27:25	通しの 12 ページで、
0:27:29	(5)として、耐震耐震サポート基礎ボルトの評価。
0:27:35	というがありまして、
0:27:38	まずここでは耐震サポートの 001 ですか。それを 13 ページに示してますと。
0:27:49	それで、次の段落で、
0:27:52	の 3 行目なんですけど、
0:27:56	高圧炉心スプレイ動き、海水ポンプの耐震サポート③の基礎ボール。
0:28:03	T2 は津波による荷重が引っ張り応力として作用することから、これに関しては引っ張り応力を算するっていう。
0:28:13	説明がある、あるんですけど。
0:28:17	それで 8 ページのですね高圧炉心スプレイ系の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:23	図を見ると、耐震サポート③っていうのが上の方にあって、これの負担、取り付く部分が基礎ボルトかと思うんですけど。
0:28:36	ここに津波による荷重は引っ張り。
0:28:41	として作用するっていう、多分そういう説明かと思うんですけど。
0:28:46	ちょっとこの基礎ボルトに引っ張りが作用する。
0:28:51	というちょっと考え方がちょっとわからなかったなので、説明お願いします。
0:29:08	中国電力の林です。
0:29:11	同じ補足説明資料の通し番号 8 ページをお願いします。
0:29:21	8 ページの図 3 ポツ 2-3 に高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの
0:29:28	モデル図といいますかを示してございます。
0:29:34	ITサポートさんにつきまして下から三つ目の耐震サポート③って書いてある、上が耐震サポートさんになります。
0:29:43	その基礎ボルト今、はい、ご発言がありましたように躯体についてこの図でいうと横向きについているボルトが基礎ボルトとなります。
0:29:55	津波によるアルクは右のモデル図にも記載してこの紙に対して
0:30:03	うまくプランタイプに水平に作用するように
0:30:09	津波の不具合と対応すると考えてございます。ですのでこの横向きに取りつけた取り付け基礎ボルトにつきまして、については引張応力が作用するというような考え方で評価をしてございます。以上です。
0:30:23	規制庁植木です。
0:30:25	図、今説明していただいた図でこの図でいうと、津波のは力が右から左。
0:30:34	にも作用してそれがボルトの引っ張り。
0:30:37	2 として働くと、そういうことなんでしょうか。
0:30:43	中国電力の林です。はい、ご理解の通りです。
0:30:48	規制庁植木です。
0:30:49	それですね、ちょっと資料として次 13 ページに、耐震サポート③のまず構造。
0:31:02	ちゃんと書いて、こちら、
0:31:05	こういう構造なんで、はるこ引っ張りとして採用するっていう説明が必要かなと。併せてですね、他の耐震サポートの、
0:31:16	例えば通しの 8 ページの高圧炉心スプレイ系でもいいんですけど、例えばこれの②。
0:31:22	のサポートっていうのは、
0:31:27	右側の方は何か省略して書いてあるのかもしれないんですけど要は平年図としてどういう構造になってて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:34	頭とかですね、
0:31:38	そういう構造がよくわからないので、なぜ耐震サポート③の基礎ボルトだけ引 っぱりが作用するとか他の耐震サポートはどういうふうに、
0:31:50	考えてせん断の評価をするのかとかという、んところを図を交えて、
0:31:58	説明を追加していただきたいんですけどよろしいでしょうか。
0:32:05	中国電力のハヤシ説、はい承知いたしました。
0:32:10	各耐震サポートの平面図断面図をというか追加するとともに、開発力、こういう 構造だから排除する過剰せん断にしてないしは光にしていることの説明を追記 させていただきたいと考えます。以上です。
0:32:28	規制庁わけですはい。よろしくお願いします。
0:32:32	規制庁の服部です。今の設事実確認に対してちょっと
0:32:40	確認なんですけど、確認というかですね。
0:32:43	これから細かい点を幾つか確認をすると思うんですけども。
0:32:48	この全体的な構成として、ちょっと説明が不足している。
0:32:52	という印象を規制庁として受けていますと。
0:32:56	例えば今の構造についても、
0:32:59	ちょっと細かいディテールについては、きちっとした資料がつけてないので、あ あいう、
0:33:07	せ、耐震サポートの細かい構造、リテールをきちんと示してくださいねと。
0:33:13	というような指摘になってるかと感じます。
0:33:18	すこーう
0:33:21	何だろう、説明がちょっと不足していて、
0:33:24	全体的に細かいディテールについての説明がないということはこれからの細 かい、これから行う細かい説明に関してもすべて共通するところですので、
0:33:34	もう少し資料を、
0:33:37	わかりやすく充実させて作り込んでいただきたいというのが、
0:33:46	確認点という加治
0:33:49	お願い事になるんですが、いかがでしょうか。どうぞ。
0:34:00	中国電力田村です。はい。
0:34:02	大変サポートの図の、
0:34:05	図が不足していてすみません衛藤。
0:34:08	充実させていただきますとともに今後の資料、
0:34:12	も同様なものは同様に図を、
0:34:15	使って丁寧なご説明するようにいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:19	以上です。規制庁の服部です。はいわかりました。耐震サポートじゃないだけじゃなくて後からも出てきますけれども、いろんな条件についても同じですので、
0:34:30	その点についてはご了承いただきたいと思います。また後程、
0:34:36	細かい説明エザキですけどちょっと悪いわって言うっていいですか。どうぞ。
0:34:42	ちょっとハットリの審査官のですね、言ってることをもうちょっと補足させていただくと。
0:34:50	基本的にですね、設計の考え方、要は設計の方針や思想的なもんですね。
0:34:56	そうしたものが非常にわかりにくい。
0:35:00	いわゆる図面とかですね、どのような考えに基づいてこういうことをやったのかというそういう根拠的なもの。
0:35:06	当然上部設計条件、
0:35:08	解析条件も一緒なんですけど、そうしたものに関係するものが、
0:35:13	なぜそういう考えで正しいのかということ、我々は、
0:35:18	精査してます。その審査に関係するようなものに関しては、
0:35:23	解説図、またはそういう図面等部分を含めてですね、そうしたものをちゃんと入れていただかないと、妹尾説明してることにならないと思いますので、その辺をきちっとですね。
0:35:36	五島出野。
0:35:37	ほう。
0:35:39	特性とかですねその設備の特性またはシナリオ特性も踏まえてですね、何を御説明したら、
0:35:47	この計算書が条件とかですね、計算の、設計の方針が正しいということが理解してもらえるのかということも、
0:35:57	含めてですね、ちょっとその資料作りに関しては、その部分をよく考えて作っていただきたいと思いますし、私からは以上です。
0:36:08	はい。中国電力の長田です。はい。
0:36:11	ご指摘の点を踏まえて資料3の方を準備するようにしたいと思います。以上です。
0:36:18	規制庁の服部ですそれでは引き続き確認する点があればお願いしますどうぞ。規制庁衛藤です。2点目なんですけど、
0:36:29	通しの26ページ。
0:36:32	循環水ポンプ出口ベーンの、津、春木に対する評価ってということで、
0:36:41	表の5.4.32、辨野。
0:36:46	固有周期。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:47	があって、0.05 秒以下っていうふうに記載されてるんですけど。
0:36:53	それで、
0:36:57	前のページ、20、25 ページにですね構造があって、
0:37:01	弁が伊豆いずれの弁もう循環水配管に設置されてますと。
0:37:12	で、
0:37:17	でわからなかったのはこれで、26、先ほどの表でですね、元の固有周期で、0.05 秒以下っていうのは、どういうふうに出されたっていうのがよくわかんなくて、
0:37:29	これ、電の部位の加速度を出すためにまず、
0:37:34	固有周期を出すと思うんですけど、その弁が取りついている配管系。
0:37:41	の、こういう周期でと。それで、
0:37:45	それが
0:37:48	5、要は配管自体が 5 であれば、これでいいと思うんですけど、今ちょっとその説明が何もなくて、
0:37:57	いきなり 0.05、
0:38:00	秒以下っていうのが、
0:38:02	出てくるんですけど、そこ、これはどう、どういう。
0:38:07	ここに出されたんでしょうか。
0:38:12	中国電力の田村です。配管の解析をして、こういう周期を確認しております。田井菅野。
0:38:20	要は、耐震。
0:38:22	設計の方の今日案と耐震計算書の方に、
0:38:28	ついておまして、そちらを、
0:38:32	呼び込みをしておかないと、サトウわからない。
0:38:37	いいので、すいません。その読み込みとかがなくて申し訳なかったです。ただ、衛藤別途ご説明する。
0:38:46	耐震の計算書の方で、配管、通常の配管の解析を行ってこういう周期を確認しておりますのでその呼び込みを追記、わかるように、
0:38:56	いたします。以上です。
0:38:59	規制庁ウエキですけど、あるんですか循環水系配管。
0:39:05	もう
0:39:07	ただ、耐震計算書がどこかにあってそれで、
0:39:11	循環水系配管の固有周期が 0.05 秒以下っていうことなんでしょうか。
0:39:21	中国電力田村ですはいその通り
0:39:25	循環水配管

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:28	はい。25 ページにありますように、明日から
0:39:38	配管が上に出ていて上に
0:39:43	弁がついていて、その上はもうベローズになっておりますのでその直感で、コンクリートから0まで出ている単純な構造ですのでそれを配管系としてモデル化してこういう請求を、
0:39:57	確認して、
0:39:58	5、20ヶ月以上であることを確認しております以上です。
0:40:04	規制庁植木です。今説明していただいた復水器水室出口弁は何となく、
0:40:12	下から、
0:40:16	短い間があつて、片用い、
0:40:20	そのようなもので
0:40:22	合田っていうことは何となくわかるんですけど、上の循環水ポンプ出口弁っていうのがちょっとそのサポートが、まずどの辺にあるのかとか、
0:40:34	ちょっとわからないので、本当に、
0:40:38	20Hz以上なのかっていうのがちょっと想像がつかないんですけど。
0:40:46	中国電力田村です。こちらちょっと説明不足していて申し訳ありませんこっちもちょっと。はい。
0:40:52	読み込みをちゃんとしとかないといけないのと、説明もちょっと順番こちらが先になって。
0:40:58	しまったので、ちょっとわかりにくい形になっておりまして申し訳ありません配管もゆ、取水槽の中にありまして、
0:41:09	コンクリートの壁から出てすぐのところに、この配管と弁がありまして、もうその先は、
0:41:19	相談変位を吸収するように、X板上がついておりますので、
0:41:23	形としては復水効い循環水、下の循環水系配管と、縦と横が違うだけで、コンクリートから直下が突き出てバードがついてエクспанションがついているという形で似たような形になっておりまして。
0:41:39	それ解析した結果、江藤。
0:41:42	こういう値が、
0:41:45	05 以下であることを確認しておりますのでそちらは呼び込みをちゃんとした上で、耐震計算書の方でご説明させていただければと思っております。以上です。
0:41:56	瀬戸ウエキです説明内容は理解しましたので
0:42:01	図書としてわかるように、引用。
0:42:05	ちゃんとして後、図面を多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:12	25 ページの上の図もう少し図、サポートとかがわかるように、
0:42:17	等、
0:42:19	記載していただいた方がいいのかなと思います検討をお願いします。
0:42:26	はい中国電力田村です了解しました。
0:42:31	規制庁駅ですと後ですね。
0:42:35	28 ページの、
0:42:38	ゆ 4.3 の強化中、
0:42:43	なんですけどここ、兵庫で 4.62 強限界。
0:42:49	あって水圧試験の圧力っていうのがあるんですけど、これは
0:42:55	どこかで、この水圧試験の内容っていうのは、
0:43:01	説明がつくという理解でよろしいでしょうか。
0:43:12	はい。中国電力の永田です。はい。
0:43:16	こちらは過去やっておりました清酒試験結果。
0:43:22	の配圧力を書いておりますちょっとこの現状ですねこの水圧試験とかのそういうものをご説明。
0:43:32	できるちょっと資料は準備していない。引用とかそういうところは、
0:43:37	補足とかそういうのがない状況でございます。
0:43:42	規制庁池です。そうすると、今回の評価で特別、別途、水圧試験をやったとかっていうことではなくて、とか、過去の試験から持ってきてるっていう理解でよろしいですか。
0:43:58	はい。中国電力の長田です。ご理解の通りで、過去やっておりました試験の圧力をここに持ってきております。以上です。
0:44:07	規制庁青木です。わかりました。そしたら、ちょっとんとこ、引用っていうかどういいう試験なのかっていうのを簡単に
0:44:17	注記で書くとかですね、ということをちょっと検討をお願いしたいんですけど。
0:44:26	はい。中国電力の長田です。はいどういうところから持ってきたとかそういうことをご説明できるようにちょっと注記の検討させていただきます。以上です。
0:44:37	規制庁植木です。私からですね内容に関わるものは、
0:44:44	以上です。
0:44:56	規制庁の服部です。
0:44:58	ちょっとそれは少し細かくなるんですけども私の方から何点か確認させていただきたいと思います。
0:45:06	まず補足説明資料の 4 ページをお願いします。
0:45:13	この 4 ページのところで、最大流速は 1.93。
0:45:17	メーター/secとあるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:20	この最大流速については、どこで算出されていて、
0:45:24	これが最大だという根拠というのは、どこに記載されているのか説明してください。どうぞ。
0:45:35	中国電力還俗です。少々お待ちください。
0:46:14	中国電力の林です。お待たせいたしました。こちらの最大流速 1.93 という辺りはですね設置川の方で除じん機の評価をする時に
0:46:25	用いた流速でして当町から示した内容でしてところ、
0:46:32	工認の説明書
0:46:34	の方にも 1.93 という数値は記載してるんですけど、それは基準と水面でどこに示してるかってのはちょっと本人段階でも資料、説明できてない。
0:46:47	記載はしておらず市場連携と説明した内容となります以上です。
0:46:53	規制庁の服部ですけれども。
0:46:56	工認、許可で、については説明されたということですがけれども。
0:47:01	購入は工認で許可を踏まえて詳細設計をやるということなので、
0:47:06	改めて条件の設定とか、そういうのはきちっと書いてもらわないと。
0:47:11	許可まで、さかのぼって見に行かなければわからないという資料だと。
0:47:17	審査ができませんので、
0:47:19	おそらくこれについては、
0:47:22	基準津波 1 から 6 までについて感度解析をやって、その結果があって、その中で、ある基準津波、
0:47:31	どれかわかりませんが、それについての最大流速が最も大きいということで、これを採用したということになると思うんですがけれども。
0:47:41	そういうところをきちっと書いていただかないと、審査ができませんので、
0:47:46	この、
0:47:50	津波への配慮に関する説明書に関する補足説明資料。
0:47:54	これで一つの括りになっていますから。
0:47:57	この中に置いてどこでも結構ですが、条件として、きちんと書いていただきたいと考えていますが、よろしいでしょうか。どうぞ。
0:48:10	中国電力の林です。承知いたしましたはい確かに条件の設定の記載等が、はい不足してるを感じましたのでご指摘を踏まえまして資料の方を修正させていただきます。以上です。
0:48:22	規制庁の服部ですはいわかりました。それでは 6 ページをお願いします。
0:48:27	一番下のところに計算機プログラム。
0:48:30	により海水ポンプの評価部位に発生する荷重を算出したとあるんですがけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:36	計算機プログラムを使ったのであれば、
0:48:40	解析モデルですとか、荷重ですとか、
0:48:43	物性値とか、拘束条件とか、境界条件とか、
0:48:48	そういう条件が見つからない等、
0:48:50	審査ができないと思うんですけれども。
0:48:55	これを読んでたときは、
0:48:57	3点支持の連続ばりーの普通の、
0:49:00	何だろう。
0:49:03	構造力学計算集みたいなところにある式で、単純出せるのかなあとか思いながらいろんな想像しながら読んでるんですけれども。
0:49:12	想像しながら読むという時点で、資料としては、ちょっと今、不足していると感じますので、
0:49:19	きちんとそこら辺の条件は示していただきたいと考えていますけれども。
0:49:24	中国電力の考えを説明してくださいどうぞ。
0:49:30	中国電力の林です。モデル等はちょっとはい。簡単ですけど1ページ等のところで示しておりますけど確かに条件等は不足している情報がございますのでそちらの方を補足させていただきたいと思います。以上です。
0:49:44	規制庁の服部です。
0:49:46	そのモデルっていうのは、7ページにある。
0:49:51	2点で
0:49:54	物品仕入れして指示された。
0:49:57	はりモデルでやってる。
0:50:00	上程上は固定か。
0:50:03	一番上が固定で
0:50:05	サポート2とばサポート31がピン支持のはりモデルでやってる。
0:50:11	という理解でよろしいでしょうかどうぞ。
0:50:15	中国電力のハヤシ説はいご理解の通り、確かにこのモデルに関して説明等は記載できておりませんのはい。そこら辺をちょっと地域の方を検討させていただき、いただきたいと思います。以上です。
0:50:27	規制庁の服部ですわかりました。あと計算機プログラム世界であって、
0:50:35	書いてあるんですけれども、どういう計算機プログラムなのかというところまできちんと書いてもらわないと。
0:50:41	動的FEM解析プログラムなのかなとも思いますし、
0:50:46	骨組み構造計算プログラムなのかなあとと思いますし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:50	何のプログラムかこれではよくわからないんですけども、そういうところも含めて、先ほどの条件、解析手法、考え者解析方法等々、
0:51:01	きちっと書いていただきたいと考えていますが、よろしいでしょうかどうぞ。
0:51:07	中国電力の林です。承知いたしましたとは先ほどのご指摘も踏まえて資料の方修正を検討します。以上です。
0:51:17	規制庁の服部です。はいわかりました。9ページをお願いします。
0:51:24	9ページというかですね。
0:51:31	これは先ほど、もう少しディテール細かいところをきちっと示してくださいねっていう。
0:51:38	確認にも通じるんですけども。
0:51:41	ちょっとここで具体的に確認したいのは、
0:51:44	どうして、
0:51:49	ポンプ基礎ボルト。
0:51:52	のを検討して2、
0:51:55	引き抜きが一でるいわゆるモーメントが出ないと引き抜きは出ないと思うんですけども。
0:52:00	なんでこれ引き抜きが出るのか。
0:52:03	先ほどウエキの確認と同じになってしまうのかもしれないんですけども、
0:52:09	少し具体的に説明していただいてもよろしいでしょうか。どうぞ。
0:52:16	中国電力の林です。フォントの基礎ボルトにつきましてはですね通しページの7ページにそのモデルが載ってますけど。
0:52:26	ポンプの基礎ボルトは7ページの図3ポツ2-2の一番上の、
0:52:34	付け二部と記載してるところを、に接続しているボール等でございます。左側に片側だけと。
0:52:41	断面だけは記載させておりますけど、そのボルトに対しての評価をしております。この、
0:52:50	ポンプから下に伸びるプランパイプに津波の荷重がかかったときに、そこに衛藤松谷。
0:52:57	預かった時にこのスピネルに対して曲げモーメントが発生するためと、
0:53:03	この点と方を店頭視点として曲げモーメントによる引抜き力が発生すると考えましてポンプ基礎ボルトの評価をしております。以上です。
0:53:14	規制庁の服部です。
0:53:17	コラムパイプつけ根部を固定短としてモデル化しているので、そこにモーメントが発生して、転倒を引き抜きが出るという理解でよろしいでしょうかどうぞ。
0:53:30	中国電力の林です。はいご理解の通りです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:35	はい。規制庁の服部です。
0:53:39	コラムパイプつけ根部を固定ちゃんと見なせるかどうかは少しちょっと微妙なところありますけれども。
0:53:45	これを読んでいくと、そのコラム月 2 分も品指示なのかなあということで、ここにはモーメントが発生しないのかなというふうに読んでいったので、
0:53:55	先ほどと同じことになりますが、
0:53:58	きちっと条件とか、解析手法とか条件とかをきちっと書いていただければ、そういう誤解とかも招かないと思いますので、
0:54:08	先ほどの、
0:54:10	の発言に含めてもう少しきちっとですね、条件等を書いていただくようお願いしたいと考えていますが、よろしいでしょうかどうぞ。
0:54:21	中国電力の早瀬さんご指摘の趣旨は理解いたしましたのではい記載のほうへと検討してはい、資料のほう適正化させていただきます。以上です。
0:54:29	規制庁の服部ですわかりました。
0:54:32	11 ページをお願いします。
0:54:35	今回ボルトについていろいろと検討されてますけれども、
0:54:40	コンクリートの体力、例えば破壊ですとか、
0:54:45	ケミカルアンカー等ですけども、
0:54:47	これについての評価は行っていないんでしょうかどうぞ。
0:54:55	中国電力の林です。
0:54:58	今度やってる評価弱はあくまでボール等々と考えましてはコンクリート処方の評価は実施しておりません。
0:55:08	後任には記載して、この説明資料には示しておりません。以上です。
0:55:14	規制庁の服部です。
0:55:18	いろんなケースがあるとは思うんですけども、こういうアンカーボルトの計算をするときって、
0:55:23	どちらかという、コンクリートの懇話会の方がクリティカルになるか、ケースも多々あるんですけども、
0:55:30	この高破壊とかケミカルアンカーとかそのコンクリート側の耐力をやらなかった。
0:55:35	やらなくてもいいとする根拠はどごうこう見ればよろしいでしょうかどうぞ。
0:55:46	中国電力田村です。通常、
0:55:50	基礎ボルトの方が弱くなっておりますので耐震計算書では基礎ボルトの方の供給結果をお示しさせていただいております以上です。
0:56:01	規制庁の服部です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:04	それはそういうこういう機械系のものはそういうふうになってるということですかね
0:56:09	土木系のものはどちらかというと、
0:56:13	ここは仮で決まってることが多いんですけども。
0:56:17	機械系は通常そういうふうな考え方でやってるという理解でよろしいでしょうかどうぞ。
0:56:23	中国電力田村です。はいご認識いただいた通りだと認識しております。以上です。
0:56:33	規制庁で武居途中で割って入りますけども。
0:56:37	基本的にですね、両方やってですね厳しいと。
0:56:41	うのを出してもここに提出しているといった趣旨がわかるように、
0:56:48	説明性を高めていただきたいんですがよろしいですか。
0:56:53	はい中国電力田村です。了解いたしました。
0:57:02	規制庁の服部です。はい。
0:57:05	細かいしなないようにボルトの仕様上部長を決めてるとか、そういうことであれば、そういうことをせず一つの説明になりますので、
0:57:16	保守的なんだよ、こっちでやった方が保守的なんだよということがわかるような説明をしていただければと思います。
0:57:25	両方やっていただいて直接的に示していただくというのも結構ですけども、
0:57:32	機械は機械の考え方があるでしょうから、
0:57:36	こちらがきちっと審査できるような、判断できるような資料にさせていただきたいと考えていますがよろしいでしょうかどうぞ。
0:57:45	中部電力田村です。了解しました。
0:58:01	規制庁の服部です。これは
0:58:06	ちょっとせっかく確認だけします。
0:58:10	8ページの、
0:58:13	耐震サポート。
0:58:15	3、例えば耐震サポートさんでもいいんですけども、
0:58:18	これは、
0:58:20	投資事項、指示、間接支持として取水槽の壁。
0:58:27	を用いているんですけども。
0:58:29	この取水槽の壁に対する評価。
0:58:33	というのは、
0:58:36	中国電力としてはどのように考えていますかどうぞ。
0:58:51	中国電力のヨシツグでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:54	ちょっと今服部さんのご質問の趣旨がすいません私が理解できなかったんですが、
0:58:59	江藤壁の評価というのは、壁のその耐震性とか耐津波性とか、そういった意味での趣旨でございましょうか、それとも先ほどあったアンカーの話でございましょうか。どうぞ。
0:59:12	規制庁の服部ですすみません言葉足らずですすみません。
0:59:16	例えば耐震サポートサーンのアンカー2、
0:59:20	引張力が生じるということは、
0:59:23	その案耐震サポートさんが接続している。
0:59:27	この斜線がついてるような、
0:59:31	断面図では肩持ちの梁、片町の壁みたいな絵になっていますが実際はちょっと、この時になってるかもしれないんですが、見かけ上肩持ちになってる所に、
0:59:44	荷重が作用すると。
0:59:46	そうすると、この水条件、
0:59:50	括弧ウスイって書いてあるところのつけ根側にモーメントが発生して、そこが壊れると、というようなことも考えられると思うんですが。
1:00:00	そういう、何でしょう。
1:00:01	受け持つ側の壁の評価。
1:00:08	流圧言うポンプに湧水圧が作用した時の受け持つ側の壁の評価というのは、
1:00:16	中国電力としてはどう考えているかということ、念のために確認したいというだけです。どうぞ。
1:00:34	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご質問の趣旨、理解いたしました。
1:00:39	江藤。
1:00:40	まずこの壁なんですけれども、ちょっと平面図がなくて申し訳ございません。この岡部この次のように、このGといいますかL型の逆のL型のような構造になっておまして、
1:00:54	両方の側壁までくっついてるような壁でございます。
1:00:59	ただいまして津波の歩くかかったもののこのサポートの場があってもギブン持つということ。
1:01:06	ご説明する形になると思いますちょっと現状、
1:01:10	すいません今、明確にその評価をした結果というのが、手元でございますのであれですが、趣旨は理解いたしました。以上でございます。
1:01:20	規制庁の服部です。はい。
1:01:23	このサポート反力が壁に作用した時に壁が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:01:28	どれぐらい能力が出るか。
1:01:31	というのは、
1:01:32	あんまり大きな応力が出ないので、省略できるんではないかなと思っていたんですが
1:01:42	少しですねそういうところの考え方も中国電力として整理しておいていただきたいというふうに考えていますあの、別に何か後、
1:01:50	そうしなければいけないとかいうことではなくて、そういうところもきちっと考慮した上で、いろんな評価をやってるんだよと。
1:01:58	ということがわかるような形で考え方を整理していただけてきた。
1:02:02	言っておきたいと思う。考えていますがよろしいでしょうかどうぞ。
1:02:07	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:02:10	はい。今おっしゃられた通り、衛藤。
1:02:13	基本的には耐震性のある壁になっておりますので、壁そのものの慣性力と、そこに機器荷重というのを見ておりますので、そういった中で、加えられているというふうに、
1:02:24	考えております。先ほどの津波の荷重という、ちょっと限定的にその話でございましたので、荷重を比較するなどしてですね。
1:02:33	ご説明をまたしたいと思えます。以上です。
1:02:37	はい。規制庁の服部です。わかりました。当然壁にもこの流圧力が作用してると思えますのでね。
1:02:44	そこら辺に包括されるのかなという気もしますけれども、いろいろと考え方を整理していただけてお受けいただけておいていただければ結構です。
1:02:55	22 ページをお願いします。
1:03:01	ここですなええと金対象、監視する設備については自主設備というふうな記載があるんですけども。
1:03:11	この自主設備が、
1:03:13	この③の通信ボックス同じ通信ボックスに接続していると。
1:03:20	いうことで、
1:03:21	この自主設備を本設備に接続することによる悪影響、
1:03:27	というのは、
1:03:29	ないのかなっていう懸念があるんですけども。
1:03:32	例えば自主設備であるので、当然、
1:03:40	設計上は、
1:03:42	レベルの低いものであると。そこで何らかの漏電とか、そういうのが起こったときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:49	3 番の、
1:03:51	そういう親睦そのものが、機能を喪失してしまって、結果的に、
1:03:59	監視機能が、全体がそう終始してしまう。
1:04:04	ということも考えられないことはないと考えていますけれども。
1:04:08	そういう点について、次の自主設備を本設備に接続するという、中央公園力の考え方について、ご説明をお願いします。どうぞ。
1:04:27	中国電力の丹波です。
1:04:32	実感か量は、次設備ですけども特にグレードだけ下げた設計をしてるというわけではない。
1:04:40	ので、
1:04:41	そういうことはないと考えておりますけども、総称モードとか、ちょっと電キーの中身になりますので、電気的な影響がおよぼし得るかとか少し分析してごせ別にご説明させていただきます。以上です。
1:04:57	規制庁の服部です。多分、レベルを下げることはないんだろうなっていうのはこちらでも想像はしているということですけども。
1:05:07	許認可上は自主設備になってるということで、
1:05:11	例えば、低耐震クラスと言われていてももう自主的には、Ssに対して機能を保持するような実力を持つてるものについても、
1:05:21	低耐震クラス、
1:05:23	という分類になれば損傷し、することを想定したような評価をするということもあるので、
1:05:30	点についてどういうふうに考えているのかなということでもちょっと確認をしたんですが。
1:05:37	中国電力の考えとしては、
1:05:39	今言った以外に何かありますかどうぞ。
1:05:47	藤。
1:05:48	9 億電力タムラです。高耐震設計としてもこのさ、303 のところに悪影響を及ぼす範囲については、数、
1:05:58	耐震設計をしておりますので、その旨がわかるような記載にいたします。以上です。はい規制庁の服部です。記載のやり方は任せますけど悪影響がないよということ、
1:06:12	どこかにんですという、何か一つの根拠。
1:06:16	理由をきちっと書いた上で悪影響がないということがわかるように、
1:06:20	記載を充実していただくということでよろしいでしょうかどうぞ。
1:06:27	中国電力田村です。了解いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:31	規制庁の服部です。はい、わかりました。
1:06:34	27 ページをお願いします。
1:06:40	27 ページの、
1:06:43	津波荷重ですけれども、
1:06:45	これについてわあ、
1:06:47	静水圧を考慮し、
1:06:50	津波荷重を算出するとありますけれども、
1:06:54	この静水圧で良い。
1:06:56	とする理由。
1:06:58	根拠でもいいんですけれども、
1:07:01	これをどこか、
1:07:03	別紙でもどこでもいいんですけれども、
1:07:06	ちょっと詳細にまとめていただきたい。
1:07:09	どうか、整理していただきたいと考えています。
1:07:12	例えば、
1:07:14	津波が、急激な流速へ、津波の襲来によって、
1:07:20	管路にその津波が流入した時に、
1:07:24	急激な流速変化が起こって、
1:07:26	管内にの圧力が過渡的に上昇または下降するような現象いわゆるウォーターハンマーと呼ばれてると思いますけれども。
1:07:34	それによって、
1:07:36	いろいろな影響を、
1:07:39	がある。
1:07:41	ということをもう、
1:07:43	一つ考えられるとは思いますが。
1:07:46	今回はそういうものがないんだということで正数やつにしていると思うんですけれども。
1:07:52	そういうものが生じないんだよと。
1:07:56	というような、
1:07:57	ことを踏まえて静水圧で良いと。
1:08:01	いう理由をどこかにまとめていただきたいと考えていますが、
1:08:06	中国電力の考えを説明してくださいどうぞ。
1:08:11	中国電力の田村です。この循環水配管の中は、弁が閉まったときに、ポンプから辨野間は水が入っておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:22	あとは大体水位が上がるとその水圧分が上昇するので、その分は最大水位です、考えておりますけども、成正圧として作用する。
1:08:34	と考えております。その旨を、
1:08:36	ちょっと図等も用いて記載させていただきます以上です。
1:08:42	規制庁の服部です。はい例えば柏崎刈羽なんかですね。
1:08:48	水撃による圧力葉の冷却水への影響評価。
1:08:51	というものをしています。
1:08:54	これは取水口から津波が、小、
1:09:00	大きな力を持って流入したときに、
1:09:03	管内の圧力が上がってその影響が、
1:09:05	冷却水系の影響があるんじゃないか。
1:09:09	というようなそういう指摘とかもあったということで、こういう評価をしてることなんで、そういうものも資料も見ながらですね。
1:09:20	島根のサイト特性を踏まえて、その理由を詳細に説明していただきたいと考えています。
1:09:28	例えば
1:09:31	柏崎の場合は、
1:09:33	津波が直接管路内に流入するような形ですけども、
1:09:41	島根の場合は、取水口の形状がですね、下、柏崎刈羽とはちょっと違うというような特徴もあると思いますので、
1:09:49	そのようなですね。
1:09:51	再度の、
1:09:53	特徴。
1:09:54	これを十分に考慮した上で、制水圧でいいとする理由を、きちっと整理していただきたいと。
1:10:01	いうふうに考えていますが、よろしいでしょうかどうぞ。
1:10:10	はい。表現の限度別、増加いたしましたそのように、はい記載したいと思えます。以上です。
1:10:17	服部さん江崎ですけどもちょっと私からも追加でお願いしたいことなんですけどよろしいですか同じ話で。はい。よろしく申し上げますどうぞ。
1:10:26	柏崎の話は今、服部審査官が言った話でその通りなんですけど。
1:10:33	今回ですね海水。
1:10:36	ポンプ等も含めて、
1:10:38	基本的には

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:41	いわゆる 1F、JSTが 5 歳、3 月 1 日のですね津波の時に、1Fでかなり水撃的な、
1:10:50	津波が出る。
1:10:52	起きているということがですねいわゆる
1:10:56	動画ですね、結構、
1:10:59	示されてると思うんですね。いわゆる建屋にして、津波をとって、かなり水ひびがかなり上がっているとそれが管路内では実際どうなっているんだろうということが実際の話だったと思うんですねこの始まりだと思います。
1:11:14	それで、
1:11:15	一つ加えたいのは、今これか。
1:11:19	1 次元の感度解析を行って、実際のこの荷重をですね、さっきからの海水ポンプ関係も含めてやってるんですが、
1:11:29	基本的に 1 次元の感度解析でそれが評価できるのかということと、あと、実際にこのようなウォーターハンマーのような現象が、今回ののは、
1:11:42	我々が今、審査している。
1:11:46	福島での、
1:11:48	方。
1:11:49	津波、基準津波、
1:11:51	特徴としてですね、そこまで考えられるのか、考える必要があるのかということも含めてですねちょっと整理いただいた方がいいかなと。それをもってしてですね。
1:12:02	今やっているこういう資源の感度解析でも、
1:12:05	方、
1:12:06	十分だという説明も含めて、いわゆる荷重出しのところも含めてですねも問題ないんだといった説明を、整理していただきたいんですがよろしいでしょうか。
1:12:22	中国電力の田村です。
1:12:25	はいウォーターハンマー、通常は蒸気。
1:12:29	のところは 19 急激な所を、凝縮を伴って、水が移動したときに衝撃が起こる現象だと理解しております。なので、まず水があるところでは衝撃的な感じは生じないと思っておりますけども。
1:12:42	取水槽の中は気相部もありますので、
1:12:45	そこで衝撃的な荷重が生じるかとか生じないかということだと思いますので、
1:12:51	少し
1:12:54	どのようなことを検討する必要があるかとか、少しウォーターハンマーとか一部の現象も検討した上で、検討させていただきたいと思います。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:07	多分ですね。
1:13:09	多分、
1:13:10	ソリトン分裂とかそんなものは話も含めてですね、多分そうやって割と、
1:13:16	回目に近い現象だと思うんですが、もともともうご改定カーブ水を吸い上げて るっていうのは理解はし構造的には理解しているんですが。
1:13:26	かなりそういった形ですねかなり圧力、またはその流速が速い状態で、
1:13:33	貫入されたときに、どういう状態が起こり得るのかって言ったときに、
1:13:39	基本的には今の1次元の計算で十分だという、いわゆるですね水に関して問 題ないと思うんですねその1次元でただ圧力食う関係、また流速関係でも、
1:13:51	1次元で全部表現できると言い切れる。
1:13:56	説明が必要なんだと思うんですね鍛冶たちとしてはですね、そこに関してはそ んな疑義はないんだけど、基本的にはそこはきちっと説明していただく必要が あると考えていて。
1:14:08	こういうようなコメントを申し上げているんです。そういうことを理解していただ いた方がいいかなと思います。
1:14:16	はい。中国電力の鹿島です。今おっしゃられた趣旨理解いたしました。取水口 吸い込む市ですね、流速であるとか向きとかああいったところも確認した上 でですね。
1:14:28	今の1次元のモデルで表現できているかどうかというところを改めて確認した いと思います。以上です。
1:14:35	規制庁江崎です。
1:14:38	基本的にですね柏崎の場合は、結構立て坑とか、割と途中途中で、
1:14:43	要は圧力を抜くような部分が多少あるんですよ。ここも多分
1:14:51	海水ポンプスマートところって別に蓋で閉めて、海水ポンプ丸っていうか、近く の部分はですね、圧力を、
1:14:58	を受けるような、いわゆるウォーターハンマー等が起きにくいような構造にも、 多分、取水槽自体、あと防潮駅っていうんですかね、がなってますんで。
1:15:10	そういったものも、一つ、
1:15:13	どうのような現象として考えればいいか。
1:15:16	多くあるのかということも含めてですね説明いただくとわかりやすいかと思いま す。以上です。
1:15:23	はい。中国電力鹿島です。承知いたしました。
1:15:29	はい、規制庁の服部です補足説明資料の中で、確認したい点がある方おられ ましたらお願いします。どうぞ。
1:15:40	規制庁ウエキ委員長エザキですけども。はい。いいです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:47	福井さん、先にどうぞ。
1:15:51	規制庁 1 すいませんじゃさっき、
1:15:55	ちょっと、
1:15:56	記載の細かいところろも含めて、
1:16:00	ちょっといくつか確認が終わります。
1:16:05	補足説明資料の方の、
1:16:09	まず 2 ページの目次。
1:16:12	3.2 のタイトルと、3 ページ以降のですね、タイトル。
1:16:18	ちょっと整合していないので、要は、高圧炉心スプレイ系補機、
1:16:23	ポンプというのを、
1:16:24	書くかどうかということかと思うんですけど、ちょっと整合、
1:16:29	するようにお願いします。
1:16:39	駐在のケンヅメです。失礼いたしましたはい、整合して記載の適正化を図りたいと思います。以上です。
1:16:46	規制庁 駅でお願いします。あと 4 ページで(2)評価部位。
1:16:51	の説明があつてここに 2 段落までなおポンプ取付ボルトっていう記載があつて、
1:16:59	通しの 5 ページの方の図にですね、ポンプ取付ボルトっていうのは、記載がないと思うんですけど、追加していて、
1:17:10	いただきたいんですけどよろしいですか。
1:17:26	中国電力のケンヅメです。はい。記載を適正化して修正したいと思います。以上です。
1:17:32	規制庁を受けつつお願いします。
1:17:35	あとすみません、6 ページで先ほど服部からあったですね。
1:17:42	一番下の評価結果のところに出てる、設計ハンドブック、
1:17:47	なんですけどこれは、もし、
1:17:51	もしというか普通通常の計算機プログラムであれば他の、
1:17:56	解析プログラムと同じように
1:17:59	解析コードの概要、2、検証、検証の話とかも含めたものを、
1:18:05	記載して呼び込む必要があると思うんですけど、いかがでしょうか。
1:18:29	中国電力の林です。承知いたしました。はいこちら補足資料ですね、説明資料の方でもはいちょっと確認して。はい。
1:18:38	お答えできるように始めさせていただきます以上です。
1:18:41	規制庁 植木です。お願いします。あと、7 ページ 8 ページのポンプの図なんですけど先ほど詳細。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:51	わかるようにっていう話記載という話がありましたけど、ちょっと寸法がですねどこにも書いてなくて、レベルとかですねサポート1の図とか、
1:19:02	寸法ですね、最低限ちょっと
1:19:07	全体の寸法は記載していただきたいんですがよろしいですか。
1:19:17	中国電力の林です。庄司と増田—portはい。
1:19:21	土岐北井の方へと。
1:19:23	検討していただきます以上です。
1:19:25	規制庁大柿です。お願いします。あと、9ページ以降にですね
1:19:31	評価の式とか、
1:19:34	計算式があるんですけど。
1:19:37	先ほど来出てるように、ここの説明がちょっと非常に雑ですね。
1:19:43	例えば10ページ。
1:19:47	この表3.2-3の、
1:19:50	二つ目のですねポンプ基礎ボルトサイズって書いてあるんですけど、サイズって何なんですか。
1:19:58	とかですねあと、その二つ下にv環境リーダー時でっていうのがあるんですけど。
1:20:05	これは前の9ページの方で言うと、
1:20:09	藤式の記号の説明でラージDっていうのがあって、ポンプ基礎ボルトのピッチ案半径のことを言ってきていて、
1:20:21	ボルト間距離って何か何を言ってるのかよくわからないとかですねすごい不整合、用語の説明の不整合があるし、
1:20:30	用語自体もよくわからないし、とかですね、あるので、
1:20:34	ここんところはポンプの耐震計算書で、
1:20:38	いろいろ計算式とか記号が出ていると思うので、基本的にはそちらの方に合わせて、
1:20:45	ちゃんとした、
1:20:47	わかるような説明をして、
1:20:51	いただきたいと思いますそれから後10ページで言うと、
1:20:56	植野氏、CIGMAの式で、これがVFNが、
1:21:04	基礎ボルトに発生する例、ゴムポンプ基礎ボルトに作用する力っていうのが、ラージFNっていうのがあって、
1:21:13	下の方のBポツで、せん断応力を出す式もですね、 $\tau S = FNRAA \times$ んところも同じ記号の。
1:21:24	FNを使っていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:21:28	上の方は、引っ張り、
1:21:31	果樹である四肢下の方は、せん断力、水平力なので、
1:21:37	当然希望は変えるべき話なんですけど、
1:21:41	とか、いくつか例を言いましたけど、この計算の説明ってのは非常に、
1:21:47	プアなので、もう少しちゃんと、
1:21:50	記載していただきたいんですがよろしいですか。
1:21:58	中国電力の早瀬さん、ご指摘踏まえましてその計算に関わるところをもう一度ちょっと見直したいと考えます。以上です。
1:22:05	さっき静聴べきですお願いします。あと 12 ページ。
1:22:09	表の 3.2-5 ですなこれの一番下に、
1:22:14	耐震サポート基礎ボルトに発生する応力っていう記載があるんですけど、これは、
1:22:21	一番右の方は取付ボルトの評価をしてるので、正確にはその、
1:22:29	基礎ボルト中とはとか、取付ボルトに発生する応力というふうに書いた方が正確だと思っんですけども、いかがでしょうか。
1:22:41	中部電力のハヤシ説はご指摘の通りと考えますのでちょっと記載のほう適正化させていただきます。以上です。
1:22:48	規制庁植木です。お願いします。
1:22:51	あと 15 ページのですね、
1:22:56	表の一番右の許容力、これはどう、どういうものか、ちょっと全然書いてなくてわからなくて、
1:23:03	3Sの協力なのか用Sの協力なのかとかですね、等この協力を出すにあたって、
1:23:13	耐震の評価と同じようにですね、どう、どういう式で、どういうふうに力を出したのかとか
1:23:21	SIとかSEを使ってるのであれば、あれば、そのあたりを書くとかどう温度条件はどうしたのかとかですね、ちょっとこの協力、
1:23:32	この根拠をちゃんと書いていただきたいんですがよろしいですか。
1:23:39	中国電力の早瀬社といたします。確かにちょっと協力についてその説明がちょっと入っとう足りないところあると感じますので考えますのではない。先ほどの、
1:23:48	ご指摘も踏まえて。
1:23:49	記載のほうへと適正化いたします以上です。
1:23:53	規制庁沖です。お願いします。後ちょっと戻って 14 ページで
1:23:58	コラムパイプの強度評価なんですけど。
1:24:03	これは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:06	ちょっと耐震評価上のこのプランパイプのところの評価っていうのをどうやってるかちょっと見る時間がなかったんですけど。
1:24:15	先行のなかーのですねところの津波は力に対する評価で、
1:24:22	同じく海水ポンプ残らんパイプ評価してるんですけど。
1:24:26	そちらの方では曲げ応力、今これ曲げ応力だけ見てますけど、
1:24:33	曲げ応力だけではなくてポンプ、内圧とか自重も、
1:24:38	自重分による応力を立ち合わせて、一次一般抗力として評価するっていうようなやり方をやっているんで、
1:24:47	ここで
1:24:50	なぜ協力だけでいいのかっていう説明をちょっと追加していただきたいと思いますが、よろしいですか。
1:25:01	中国電力の林です。承知いたしましたちょっと確かに説明不足と考えるものではいちょっと北野検討させていただきます。以上です。
1:25:10	規制庁大池ですよろしく申し上げます。
1:25:13	あと、ちょっと飛んで、26 ページ。
1:25:19	表 5.4-4、一番下の表ですけれども、ここに水平方向振動、
1:25:26	SDによる水平方向振動が出ていますけど、
1:25:30	これが
1:25:32	設計用機器の設計を震度は
1:25:36	ローマ数字の 1 と 2 っていう二つのものがあって、
1:25:40	どちらを使ってるのかっていうのを、ちゃんと記載していただきたいんですけど、これは今、
1:25:48	ヒアリング数をやっている他の耐震計算書での書き方も等も見ていただいて、
1:25:57	度チラーの方の設計を振動を使ってるのかっていうのを明記していただきたいんですがよろしいですか。
1:26:10	はい。15 年度の計画です。はい。どちらかを立てるか明記できておりませんでしたのでそちらを記載適正化したいと思います。以上です。
1:26:19	規制庁喜田谷津申し上げます。
1:26:22	あと、
1:26:23	最後ですけど 27 ページ。
1:26:27	先ほど来出ている、津波の
1:26:33	津波荷重による評価なんですけど、町並女川の評価、同じ評価では、(1)の津波荷重のところ、
1:26:45	突き上げ荷重、津波による突き上げ荷重っていうことで、
1:26:49	静水圧と合わせて突き上げ果樹。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:53	と称してるやつも、
1:26:55	評価してるんですけど、これは
1:27:00	何か設置位置とか、
1:27:05	構造によって、
1:27:08	先ほどから出てる整数やつだけでなんでいいかって話になると思うんですけど、女川の違っているのは何かあるんでしょうか。
1:27:19	中国電力田村です。
1:27:21	はい。先行機で、そのような高がついているのは承知しておりますけども。
1:27:29	CDどう部位の事情。
1:27:31	というシキイだと思います。それは流水中。
1:27:36	にある。
1:27:43	管とか、そういうものがその流水に受ける抗力。
1:27:48	だと。
1:27:49	その主義だと理解しておりますでこれは、
1:27:52	弁、
1:27:54	配管の中に、
1:27:56	弁配管弁がついてるその弁が受ける場所ですので、
1:28:01	湧水荷重は受け、
1:28:03	ませんので、その項があることによって保守的な評価にはなるんですけども、この、
1:28:10	荷重の評価においては、その項は必要ないと判断いたしました以上です。
1:28:16	規制庁植木です。考え方わかりますと先ほどの
1:28:22	あれですか、ウォーターファーマーですから費の評価とかも含めて、合わせて説明をお願いします。
1:28:39	すいません。ちょっともう1、
1:28:41	2件あったんですけど。
1:28:51	すいませんちょっとすぐ出てこないの、
1:28:55	チギラさんあれですかさっき、
1:29:19	規制庁の服部です。江崎さん、確認点って補足説明資料の確認ですから、どうぞ。
1:29:26	すいません私屋外排水炉の方で、
1:29:30	規制庁のハットリつ屋外排水の方はちょっと後でまた確認しますので、とりあえず補足説明資料の方で最初に確認したいと思いますので、少しお待ちくださいとかそっちはそこじゃないので
1:29:42	他の方で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:44	応援と出していただければと思います。はいわかりました。それではほかに施設確認する点がある方はおられればお願いしますどうぞ。
1:29:56	規制庁駅です。
1:29:59	すいません。
1:30:01	補足説明資料ちょっと6ページに戻っていただいて、
1:30:10	これの、
1:30:13	表の3.2のですね津波により作用する効力ということで考慮ケースCDっていうのが1.2。
1:30:22	を使ってるんですけど、これ、園地、円柱ですか。園。
1:30:27	系の連携断面に対する、
1:30:30	凍る係数かなと思ったんですけど。
1:30:36	どう、
1:30:37	ちょっとそれ、抗力係数の出典を追加していただく。
1:30:44	ないんですけどよろしいでしょうか。ちょっと先行。
1:30:48	少し違ってるといふので、
1:30:52	出典書いていただけると。
1:30:55	ありがたいんですけど。
1:31:03	中国電力の林です。はい出頭形状としましてはすぐ上にCDの円筒形状と書いてまして、ウィンドウ形状考慮しまして武出典の方はちょっと記載。
1:31:13	できておりませんで記載のほうを追加いたします。以上です。
1:31:17	規制庁をください。よろしく申し上げます以上です。
1:31:29	規制庁の三浦です。ちょっと先ほどから話が出てるんですけど、多分補足資料の7ページとか、
1:31:39	解析モデルをちゃんと書けとか設計の考え方をもうちょっと詳細にというようなコメントがあってそれはその通りだと思うんです。
1:31:48	その中に一つ、
1:31:50	荷重で、例えば浮力については、これ古く働いてきますよね。もう、コラムサポートの自重でキャンセルされるから、今回は考慮しないとかなですね。
1:32:01	そういうこともきちっと整理をしておいていただきたいというふうに思います。
1:32:06	それと等13ページ。
1:32:10	これ、
1:32:12	脚部、ベルマウスつつうんですか。その部分はピンで大きく書いてますよね。品のディテールっちゃうのが、
1:32:19	この耐震サポートで、水力だけ。
1:32:23	伝えるような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:26	最新サポートになってると、ということだと思うんですけど。
1:32:30	ここに制度があると、結局基礎ボルトにもゲームが入るんですよ。
1:32:36	ですからそれがオーダーが小さければ、それはネグレクトできるんだけども、できるんで今回は考慮してないとかですね、その辺のところもちょっと記載を充実させていただきたいなと私からのお願いです。
1:32:53	中国電力の林です。いただいたご指摘を踏まえましては記載のほうを受けて、地域の方を検討させていただきます。以上です。
1:33:05	規制庁のチギラです。私の方から1点ですねと。
1:33:09	受資料、補足説明資料の17ページ、16から始まるですね、ところで17ページなんですけど
1:33:16	津波監視設備の設置日コウゼイ及び電源構成の資料なんですけど、
1:33:22	これ。
1:33:24	ちょっと見た感じだと、
1:33:28	まず設計の内容っていうのがですね、ちょっとわからないなというのがありますので、ちょっとしっかりですね文章で書いていただくのとあと表とかもですね加えていただきたいなというふうに思っております。
1:33:44	この追加設備要求される耐震性とかですね、あと
1:33:52	給電に関するものとかあと対多様化とか多重化とかしてるかと思しますのでその辺のですね設計の内容。
1:34:01	許可でですね方針を示された。
1:34:04	ところを受けてですねそれでこういう設計をしますっていうところの内容がですねちょっとわからないので、その辺はですね、ちょっと示していただきたいと思っております。
1:34:14	ちなみに
1:34:17	先行で言いますと東海第2とかですねその辺り、
1:34:23	整理していますのでその辺りもですねちょっと参考にですね、確認いただいて資料を充実させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。
1:34:40	はい。中国電力のケンヅメです東海第23を確認させていただき補足して、不足している内容について補足させていただきたいと思います。以上です。
1:34:51	はい。よろしくお願いします。
1:34:55	例えば映像とかですね、観測データの伝送方法であったりとか、
1:35:01	あとは給電ですね、電源供給の話で、電源も
1:35:07	通常時とSBO時とかですねその辺りで、どういうふうなものを使うのとかですねその辺、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:14	どういう設計としてるのかとかですね、あと概略構成図も今の構成図だとちょっとわかりにくいのでちょっと先行のものをしながらですねちょっと、
1:35:26	充実していただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。
1:35:35	はい。中国電力ケンヅメ数はい承知いたしました。以上です。
1:35:42	規制庁。
1:35:45	規制庁の服部です。他に補足説明資料で確認する点がある方をお願いします。
1:35:51	よろしいでしょうか。
1:35:53	それでは、その次のNS新野他の 029 について確認する点があればお願いしますエザキさん、よろしいでしょうかどうぞ。
1:36:07	エザキですけども、私からですねまず、
1:36:11	1 点目が、
1:36:13	例えば敷地、敷地側ですね、ていうのを主僕らはいつ、水道の週末ですか。
1:36:24	そのね、
1:36:27	夏に浸水防止蓋がついているのかどうか、それちょっとお聞きしたかったんですが例えば 7 ページ。
1:36:34	の図の 3-1、両括弧 2 で言ったならば、敷地側にあるので、
1:36:42	いわゆる津波が入ってくると、敷地へのですね、流出っていうのは津波の流出が考えられるんですが当然ふたがあるのだろうと思うんですが、この辺をちょっと確認したかったんですがいかがでしょうか。
1:36:56	中国電力志水です。はい。7 ページご覧いただきまして断面図の方で、
1:37:03	マスの内径 2500 とありますけれども、こちらの天端の方にですねおっしゃられる通り
1:37:11	ふたがけをしてございます。以上です。
1:37:16	江崎です。
1:37:18	今回この集水松がどういう構造でどういう考えに至ってるかとちょっとわかるようにですね。
1:37:25	たのを明示的に記載できるでしょうか。
1:37:31	中国電力清水です。はい。承知いたしました記載するようにいたします。
1:37:39	点目ですが、
1:37:43	敷地側もそうなんですが、特に海側に関して言った時に、
1:37:47	この津波が来たときに、
1:37:49	調査が、
1:37:52	上がると思うんですね。
1:37:53	海側の方は多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:56	グレーチング等あってもふたはぬ。
1:38:00	あるかないかわからないですけど、カンロから釜田
1:38:03	大上側からですね、
1:38:07	津波が入ったときに、評さ等が、
1:38:10	たまって、いわゆるフラップゲートの開閉器開閉の機能を、
1:38:16	どうするか。
1:38:17	阻害することにならないかどうか、この辺っていうのはどう考えられてますでしょうか。
1:38:34	中国電力清水です。はい。
1:38:37	津波、耐津波の関係でも、砂の影響の方ご説明しておりますが基本的に砂の影響が少ないサイトではございますが
1:38:48	おっしゃられる観点のご説明も必要だと思いますので、記載の方などを検討して参りたいと思います。
1:38:55	それですね、何か今後
1:38:59	いわゆるフラップゲートの開閉機能遅くなっちゃうと、
1:39:03	例えば、
1:39:05	僕が溢水とかあればそのの、
1:39:08	排水とかですね、または
1:39:11	尽くす低下設備の、水野。
1:39:15	伊田氏ですね排出、運営の排水等が新居側が出てきますんで、
1:39:20	まずフラップゲートの開閉機能という観点で紙調査の堆積と、
1:39:25	あと漂流物。
1:39:28	例えば、そんな大きいもんじゃなくても、例えば木材とか、そういったもので、開閉機能を損なうことはないのか、それに対しての同様の対策を打っているのか。
1:39:39	ということですねまだ説明いただきたい。それと、僕、いわゆる屋外、
1:39:46	屋外ですね。
1:39:48	意思があった場合に、
1:39:51	ある程度、敷地内の漂流物が、
1:39:55	屋外排水炉。
1:39:57	この中に流入、流れていった場合にそれが流れ着いた先が 5、主に取水ピットになると思うんですねそうした時に、
1:40:07	それが挟まってフラップゲートが、
1:40:11	炊きやっぱある程度隙間が起きてしまうんじゃないかということも考えられます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:16	これはですね実際女川の方でも終盤でですね審査の終盤でかなり、
1:40:22	時間かけて審査してます。それらの資料がありますんで、
1:40:27	先行サイトの、
1:40:29	実績見ていただいて、
1:40:32	この、
1:40:33	嶋出野君、引地能登か。
1:40:36	発電所の特徴から考えて、
1:40:39	何を検討すべきか言い方良いのか、それとそうしたものに関して、排除できると考えた理由等も含めてですね、整理していただきたい。
1:40:50	できれば、拝聴できないのであればそれは、先行サイトも含む。
1:40:55	清野四方も見踏まえてですね、ここでは何をどう対応したをしたらいいのか、島根としてですね、これは今後整理していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
1:41:08	中国電力清水です。はい。フラップゲート等の、に求められる機能等、
1:41:15	またその阻害要因等をきちんと整理して説明するようにということだと受けとめましたので、菌田あたり整理してご説明したいと思います。あと、すみませんそれから先ほど、
1:41:29	一つ前のご質問でお答えできておりませんでした。海側の取水バスの現場の方にもですね蓋のほうは設置してございます。はい、以上になります。
1:41:42	では、今後ということですね、これフラップゲートの開閉機能に損なうような
1:41:52	事象ですね、事象をそ想定した上で
1:41:56	それ、そこへの対応。
1:41:58	部分を、を整理していただきたいと思います以上です。
1:42:09	規制庁の服部です。
1:42:11	それでは私から2点ほど確認します。
1:42:15	まず1点目はこの資料については、
1:42:19	設置状況をその他資料として示していただいたということでは理解しているんですけども。
1:42:27	設置状況の中には、
1:42:30	もう少しそのマスがどのよう2、
1:42:34	設置されてるかという詳細なですね。
1:42:37	情報もですね、必要なあと考えています。
1:42:42	例えば先ほど江崎の方からあった蓋の話もそうですし、
1:42:47	先ほどアンカーで、
1:42:49	固定しているという旨の説明があったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:42:53	アンカーで固定されていることは、この図からはわかりませんし、
1:42:59	もう少しですねここを拡大するなり何なりしてですね。
1:43:04	どのように接続しているのかとか、先ほどの蓋の話ですとか、
1:43:12	そこら辺のですね、
1:43:14	詳細な、
1:43:16	図面なり、
1:43:18	情報なりを、
1:43:21	これに追加していただきたいと考えていますが、
1:43:24	中国電力としてはどのようにお考えでしょうか。どうぞ。
1:43:30	中国電力清水です。
1:43:32	はい。すいません少し記載が簡略であったためにわかりにくいところがあったかと思います。
1:43:40	藤。
1:43:41	ちょっと通しページで6ページをご覧くださいまして、3ポツ設置状況と書いておりまして、
1:43:49	こちらの方にアンカーボール等で、
1:43:52	防波壁に固定しているというような記載はしておるんですけどもおっしゃる。
1:44:00	ます。
1:44:03	の方書いておりませんので、図面の方でお示しして参りたいと思います。
1:44:09	以上です。
1:44:10	規制庁の服部です。はい。お願いします。ちょっと具体的にちょっと2点ばかり。
1:44:15	例えば17ページのマスですと、
1:44:19	少し強い壁を立ち上げて、
1:44:23	上の方の被服コンクリート2、
1:44:27	アンカーで定着してると思うんですけども。
1:44:33	背面2行多重股間食いがあるので、
1:44:38	本当にきちんと飲み込み町を確保した上で定着できてるのかとか、
1:44:43	そういうこともわかるようにしていただきたいですし、
1:44:46	例えばこの、
1:44:48	地震時には、耐震性のない施設護岸は、例えば製紙マウンドとかが崩れれば、倒れてしまうことも考えられますので、
1:44:56	その場合はこれ宙ぶらりんになってしまうような、そういうような状況になるのかというの、詳細な図面とか情報があれば、何となく理解をすることもできるかもしれませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:09	そういうことも含めてですね、この辺のマスの子り末に関する詳細な情報を提示していただきたいと考えていますが、よろしいでしょうかどうぞ。
1:45:25	中国電力清水です。はい。おっしゃられる通り、準備をして参りたいと思います。こちらの断面につきまして
1:45:33	少し陸側の集水樹の壁の方が上に伸ばしてあって、ここを通じて防波壁に固定しているということで羽鳥さんのおっしゃられる通りの構造でございます。
1:45:46	その他のところにつきましても、同じような説明を、が必要だと思しますので、準備して参ります。以上です。
1:45:54	規制庁の服部です。はいわかりました。下の方は、鋼管杭と、
1:45:58	奥川排水量済ますの間には少し隙間があるというようなイメージで、
1:46:04	何となく折れそうな感じもするんで、そこら辺は詳細でわかると思います。
1:46:09	阿藤。
1:46:10	もう1点なんですけどこれ確認なんですけれども、
1:46:13	この集水樹については、
1:46:16	屋外排水の逆止弁というSクラスの設備を、
1:46:21	間接支持する構造物として位置付けて設計する。
1:46:27	という方針。
1:46:29	かなというふうに理解してるんですけども。
1:46:32	その理解は正しいでしょうかどうぞ。
1:46:37	あ、中国電力清水です。はい。おっしゃられる通り、間接支持するものとして、耐震性やI津波性ということをご説明して、
1:46:47	いく方針でございます。以上です。
1:46:51	規制庁の服部ですでは
1:46:54	Sクラス設備の耐震、間接支持構造物として位置づけるということで理解をしました。
1:47:00	私からは以上です。他にあればお願いしますどうぞ。
1:47:12	規制庁の谷口です。今、服部からもいろいろ話が出ましたけれども、
1:47:18	資料はこれの記載の比較表が一番最後のページにあったと思うんですけども、ここに、
1:47:28	もともと浸水防護施設の設計における補足説明の内容については、
1:47:34	耐震性に関する説明書の補足説明資料で説明するっていう形で書かれている部分に相当盛りだくさんに今の。
1:47:43	アンカーボルトの話、それからコンクリートへのコンクリート躯体の取り付け広報それから、杭の話とか、すべて載せてあるように読めましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:55	この辺の補足資料については十分な検討をしていただいて、そう早急に出していただければと思います。よろしくお願いします。
1:48:09	中国電力清水です。はい、承知いたしました。
1:48:14	はい。それで、ところ、その資料の中で、当然先ほど話が出て出てましたけれども、
1:48:23	不具合排水量逆止弁の設備の役割と機能をちゃんと整理していただいて、
1:48:29	それに検討するとにあたって考える、津波荷重特に引き波等にも、どう考えるのかっていうなことがちょっと気になるところでありますので、
1:48:39	引き波箇条についてもどう扱うかを考えていただいて、
1:48:43	記載をまとめていただければと思いますよろしくお願いします。
1:48:53	中国電力志水です。はい。主おっしゃるところを理解いたしました。少し1点お伺いしたいんですが、引き波。
1:49:03	の状況を考慮してっていうのは
1:49:06	どういったイメージで、でしょうかすみません教えてください。
1:49:11	津波の検討にに対しての単身健全性の評価に当たりましては、
1:49:19	ここの排水量逆止弁のところに、当然ながら実津波が引くときに出てくる時に、
1:49:31	の荷重に対しても、この逆止弁がちゃんと機能するのかっていうことを確認しないといけないことになると思いますので、そういうイメージで、
1:49:41	今、コメントさせていただきました。
1:49:50	中国電力の清水です。今おっしゃられたのはこの逆止弁が引き波の時にこの管路伝わって出ていくということをおっしゃられてるということでしょうか。
1:50:12	あ、そういうイメージで考えております。
1:50:24	中国電力清水です。ほとんどのものがですね敷地の中というか防波壁の内側に入ってくるようなところはないのであまりそういう箇所はないと思いますけど。
1:50:34	一部外側にあるところもありますのでそういうのがあるかどうかというのも含めて検討してですね整理させていただければと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
1:50:53	すみません規制庁の三浦です。ちょっと簡単な確認だけさせていただきます。
1:51:00	4ページとか5ページで、
1:51:03	へえ。
1:51:05	逆止弁の構造的な。
1:51:07	ちょっと図が出てるんですけど、これ、躯体とこの逆止弁の間って何らか被災止水処置はするんですか。
1:51:24	中国電力志水です。こちらの経路の浸水経路の方は配水管となっております、そちらの方この額で塞ぐということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:37	その経路となる関東全体の間には止水ゴムを取り付けてございます。以上です。そうそう。
1:51:46	4 ページ 5 ページのこの周辺には止水ゴムが回ってるんですね躯体の方向は、躯体についての逆止弁についてもよくわからないですけど。
1:51:57	どうぞ。中国電力志水です。はい、ご理解の通りで現全体ですが執刀敷地側の方についてございます。以上です。それだったらその辺もですねちょっと図として加えといていただけるといいんですが。
1:52:13	中国電力清水です。はい。失礼いたしました記載するようにいたします。はい。お願いします。
1:52:27	規制庁チギラです。すみません 1 ページのところ概要、今回書いていただいでいて、
1:52:34	それで
1:52:37	その 5 行目から書いてある内容なんですけど、ここちょっと読んでもちょっと、ちょっとピンとこなかったんで、ちょっと。
1:52:45	どういったことが言いたいのか、説明していただけますか。どうぞ。
1:52:59	中国電力清水です。屋外排水量逆止弁につきまして、設置変更許可でのご説明というところで先ほどもございましたが
1:53:09	津波Sクラスということで、逆止弁の方、
1:53:13	抽出し、そちらの方の設計の考え方ということをご説明していただきております。
1:53:20	そうしたところで
1:53:22	設備も設置しておりますし
1:53:26	許可段階からの変更はないということになるんですが、一部、逆止弁を囲む集水柵というのがありますということで、こちらの集水柵の説明の方が
1:53:38	少しできていなかったところが、
1:53:41	あったと思っております。そちらの方につきまして、何、⑬の集水柵けですけれども、こちらにつきましては衝突荷重を考慮して設計するというで、
1:53:55	そのようなことを申しております。以上です。
1:54:00	はい。規制庁の喜田です。多分関係者がわかると思うんですけど、ここは人生の話と、実際の設置設備の設置の話っていうのがちょっとまざっていて、ちょっとわかりにくいなと思ったんですけど。
1:54:17	何、この、
1:54:20	その他資料を今回加える理由。
1:54:26	ていうか目的というかですねその辺がちょっとわからないなっていうこと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:31	ところなので、ちょっとその辺、もう少しわかるような形で考えていただくことは可能でしょうか。
1:54:41	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。
1:54:46	ご趣旨、理解いたしました。衛藤先ほど清水が申しました通り、ちょっと集水柵について、設置許可段階ではご説明しているような、
1:54:57	ところが少しありませんでして弁についてのみ書いて集水柵の状況ですとかそういうところが記載がなかったということで今回進みますも含めて、ちょっと詳細なものをつけているというところでございます。
1:55:10	少し文章が足りている、説明が不足しておりますので今回の資料をつける理由を、もう少しこの地域をさしていただきたいと思っております。以上でございます。
1:55:20	はい、規制庁とりあえずわかりました。
1:55:27	他、今の資料について確認する点があればお願いします。よろしいですかね。
1:55:32	そうしましたら最後のANS II た 030 について確認します。
1:55:38	私から 1 点確認します。
1:55:40	2 ページをお願いします。
1:55:43	女川 2 号機能 6.35 水撃に関する補足説明のところなんですけれども、
1:55:49	島根については、
1:55:51	防水力はないため不要としています。
1:55:55	女川の防水時期というのは、
1:55:58	経路からの流入を防止する壁。
1:56:01	というふうに理解をされていて、
1:56:04	島根では、それが、
1:56:06	あ、ごめんなさい。女川の防潮日置というのは、
1:56:10	経路からの流入を防止する壁というふうに理解をされていて、
1:56:15	島根ではそれは防水へき。
1:56:18	人年という名称で、
1:56:24	設置されるものだというふうに理解をしているんですけれども。
1:56:28	傍聴へ来がないため不要としている、この記載に少し違和感があるんですが、その点について説明してくださいどうぞ。
1:56:40	中国電力清水です。
1:56:42	はい。吉井。そうですね。女川の防潮駅。
1:56:47	につきましては経路からの浸水に対する設備で津波防護施設に分類されていると思います。
1:56:54	ここで島根の防水駅の方が浸水防止設備で、取水槽の上にデンバーに設置しているというものでございまして少し各場所が違うということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:09	このように記載してしまっているんですが、
1:57:12	概要欄の方、
1:57:15	防水液位がございましてそちらの説明の方で説明するといった形で修正させていただきますと思います。
1:57:22	以上です。
1:57:23	はい、規制庁のハットリですはいわかりました少しこのないっていうふうに違和感があったので、これについてはここで説明するっていうことに記載を適正化していただければと思います。私からは以上です。
1:57:36	他にあればお願いしますどうぞ。
1:57:39	規制庁チギラですすいません私 2 点ありまして、1 ページのところの、
1:57:45	女川、
1:57:47	ていうところの 5.15 の浸水量評価について、
1:57:51	のところなんですけど、これは島音の方では、江藤添付の、
1:57:56	説明書の方の項目で、そこに記載があるのでそれで、
1:58:05	その記載から、入って補足説明をする内容はないと、そういう理解でよろしいでしょうか。
1:58:18	はい。中国電力遠別はご理解の通りでは、こちらで説明しているので、必要ないとは考えております。以上です。
1:58:27	はい。規制庁千田です。わかりました。ちょっと
1:58:31	添付の方ですね確認させていただいても次何かあればまたちょっとお尋ねしたいと思います。
1:58:38	それで、あと 2 点目の 2 点目ですけど、同じく 1 ページの、ですねこれも女川で言うところの 5.2. 3 のタービン補機冷却海水系ポンプ吐出弁の話なんですけど。
1:58:52	これは、これをずっと右に行くと、島根の概要のところは、今では浸水防止設備をSクラスとしてるためっていうことを書いたんですけど。
1:59:04	嶋根井、ここで言ってる。
1:59:07	対象としてる設備っていうのは、同じものを、タービン補機海水ポンプ同士、ドイツ弁同じものを指しているということでしょうか。
1:59:21	はい。中国電力系のベースは同じものを指しております、こちらは強度計算書、耐震経営社長は作成いたしますので、そちらで説明する予定です。以上です。
1:59:33	はい、規制庁チギラですわかりました。私から以上です。
1:59:38	他に今の資料について確認する点があればお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:42	全体的に忘れてもう1回確認したい点があればお願いします。よろしいでしょうか。
1:59:51	はい。これ、
1:59:55	内容ですね。はい。中国電力の方から何か、今回のヒアリングについて確認しておきたい点があればお願いしますどうぞ。
2:00:07	はい。中国電力から特にございません。どうぞ。
2:00:12	規制庁のハツトリです。はい。
2:00:14	それでは本日の確認はすべて終わって説明も終わりましたのでヒアリングを終了したいと思います。どうもありがとうございました。
2:00:24	ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。